

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
I 全体							
1 本事業目的及び委託業務に対する理解							
① 本事業の目的		<div>・本市の教育ICT環境の現状や課題を十分に理解した上で、本業務の目的・必要性、重視すべき点を記述すること</div> <div>・発注者の現状や課題を十分に理解した上で、本事業全体の目的、必要性、重視すべき点を記述すること</div> <div>・本事業により実現される効果、効果を得るための留意点を具体的に記述すること。</div>	・ 2 背景と目的	<div>・ 仕様書の目的・背景を正確に理解し、現状課題を的確に把握していること</div> <div>・ 現場ニーズやDX推進の観点を踏まえた記載があること</div>		2	10
2 本市課題及び本業務に対するリスク認識と取組方針							
① 本業務推進にあたっての注意点		<div>・ 本事業により実現される効果、効果を得るための留意点を具体的に記述すること</div> <div>・ 本事業の特性やリスクを明確にするとともに、推進上の注意点やリスクへの対応策について記述すること</div> <div>・ 関係者（利用者や制度所管等）の合意形成や円滑なシステム切り替えを実現するための、事業者としての工夫や取り組みを記述すること</div>	・ 仕様書全体	<div>・ 事業により実現される効果が具体的に記載されており、その効果を得るための留意点（導入時の現場負担、運用面の課題等）が示されていること</div> <div>・ リスクや障害となりうる要素が具体的に特定されており、それに対する現実的な対応策・予防策が示されていること</div> <div>・ 事業者が守るべき情報セキュリティや法令・規定について記述されていること</div>		2	10
3 受託組織としての実績							
① 構築・運用保守実績		<div>・ 令和2年度以降、以下どちらかの構築・運用保守の実績（現在、構築中のものは実績として認めない）について、導入実績（契約名、契約額、発注者、契約期間等）とその内容（主な調達範囲、導入機能とその実現方法等）及び運用保守実績（契約名、契約額、発注者、契約期間等）を記述すること</div> <div>&lt;実績&gt;</div> <div>・ 小中学校における端末台数20,000台以上で利用する協働学習支援システム</div> <div>・ 国、都道府県、特別区、政令指定都市のいずれかにおいて利用するシステム</div>	<div>・ 入札説明書</div> <div>・ 5（1）再構築プロジェクト体制要件</div> <div>・ 5（2）運用保守体制管理要件</div>	<div>・ 本市の事業に近い経験（仕様、規模感、期間等）や実績が具体的に示されていること</div> <div>・ 過去実績を通じて得たノウハウや改善経験が今回の提案に活かされていること</div>		2	10
4 体制要件							
① プロジェクト体制		<div>・ 本業務の全工程を通じたプロジェクト体制図（チーム構成、メンバー名）を記述すること。ただし、構築・運用保守で体制が異なる場合は、分けて記述すること</div> <div>・ 体制図に記載したチームごとの作業範囲および開発範囲、また各メンバーの役割、経歴（経歴・実績、資格、得意分野、経験年数）、専任/兼任の別を表形式で記述すること。なお、本事業に主要メンバーとして参加するメンバーを明確にし、関与度合を記述すること</div> <div>・ 上記のチーム構成とすることで得られる効果を記述すること。</div> <div>・ 要員数の見積根拠を記述すること</div> <div>・ なお、再委託を予定している場合には、仕様書「12（3）再委託に関する事項」を参照のうえ、再委託についての考え方、再委託先との役割分担を記述すること。</div>	<div>・ 5（1）再構築プロジェクト体制要件</div> <div>・ 5（2）運用保守体制管理要件</div> <div>・ 12（3）再委託に関する事項</div>	<div>・ 各メンバーの経歴が、本業務の役割に十分に対応可能であるかを評価する</div> <div>・ 要員数が過大・不十分でないことの根拠が明確であるかを評価する</div> <div>・ 何らかの理由によりメンバーが交代した際のリスクや対応方法（引き継ぎ、バックアップメンバー等）について、評価する</div> <div>・ プレジェクトメンバーの役割分担や責任体制が明確に示されていること</div> <div>・ 必要なスキル・知見を持つ人員が適切に配置されていること</div> <div>・ 提案されたチーム構成が妥当であることを、得られる効果を明確に記載して示していること</div>		4	20

# 大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
5 スケジュール							
①	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プロジェクトの全体スケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること</li> <li>・クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期について、記述すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 (1) ②委託期間</li> <li>・ 4 (1) ③再構築スケジュール案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の流れや作業ごとの所要期間が現実的かつ無理のない計画となっていること</li> <li>・クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理のうえで重要となるポイントや時期が記載されていること</li> <li>・要所での進捗管理や調整方法が具体的に示されていること</li> </ul>		2	10
②	段階稼働の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期教育情報ネットワーク基盤への切り替えにあたって、学習系システムへの影響調査の進め方や関係者との調整において留意すべき事項やリスク、それらに対する対応策について記述すること。また、学校現場での教育活動に重大な支障をきたさないようにするための対応策の検討や方針についても記述すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 (1) ④段階稼働の考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習系システムへの影響調査の進め方や関係者との調整等で注意すべき事項やリスクとその対応策が提案されている</li> <li>・学校現場での教育活動に重大な支障をきたさないように、十分に考慮した提案になっている</li> </ul>		2	10
6 本事業の責任分界点の考え方							
①	責任分界の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書「5 (4) 役割分担と責任分界点」を基に、役割分担及び責任分界点の考え方を詳細に記述すること。なお、仮稼働時とNW移行期間・本稼働時の役割分担及び責任分界点をそれぞれ記述すること</li> <li>・記載されていないが受注者の責任範囲に含める、または他関係事業者の業務に差し支えない範囲で他関係事業者の責任範囲を受注者の責任範囲に含める、ということを提案される場合、その内容を具体的に記述すること</li> <li>・調達範囲から考えられる、他事業との隣接点や段階稼働を踏まえた責任分界の考え方を記述すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 (4) 役割分担と責任分界点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮稼働時とNW移行期間・本稼働時それぞれの役割分担と責任分界点の考え方に関して、「5 (4) 役割分担と責任分界点」の範囲を的確に捉えられているかを評価する。特に注目する提案内容は以下とする ＜提案される責任範囲＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Google Workspaceの学習系システム用の構築・運用</li> <li>・ Microsoft365の学習系システム用の構築・運用</li> <li>・ 学習系ヘルプデスクで一次回答する対象範囲</li> <li>・ アカウント管理</li> </ul> </li> <li>・役割分担・責任範囲が明確かつ合理的に設定されており、分界点でのトラブル予防策が示されていること</li> </ul>		2	10
7 システム構成							
①	システム構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書「6 (2) 学習系システム一覧と構成イメージ」のシステムの全体構成（想定イメージ）を参考に、提案する学習系システムの機能を明記した構成図を記述すること</li> <li>・各学校園・自宅等校外からの利用イメージ（利用経路等）を合わせて記述すること</li> <li>・学習系システムを利用するにあたり、端末へインストールや設定が必要であれば、そのアプリケーションや設定作業の内容を記述すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 (2) 学習系システム一覧と構成イメージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に記載した学習系システム（協働学習支援システム、学習支援システム、学習系ポータル、学習eポータル、ナレッジ共有、学習系サポートサイト）を網羅して説明されていること</li> <li>・クラウド環境構成図、及びシステムごとにどのクラウド環境に属するかを明確かつ具体的に示されている</li> <li>・学習系システムが全てクラウドサービス（SaaS）上に構築・準備されているか示されており、機能や拡張性、安全性、継続性、経済性の面からそのメリットや合理性が説明されていること</li> <li>・端末別、利用場所別（各学校園・自宅等校外）に各システムの利用経路（認証、アクセス等）が具体的に示されていること</li> </ul>		2	10
小計							90

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
Ⅱ 学習系システム機能・構成要件（本市要件）							
1 機能の適合性							
①	機能の適合性	・各システムの機能について様式「提案書等付属様式5_機能要件一覧」に基づき、「1. 対応可能」、「2. 対応不可（代替案の提案あり）」、「3. 対応不可（代替案の提案なし）」から適合状況を記述すること。なお「2. 対応不可（代替案の提案あり）」を選択した場合は代替案を提案すること	・6 学習系システム機能・構築要件全体	・機能が過不足なく提案に盛り込まれており、実現方法や追加的な工夫が適切に示されているか  ・各機能については機能項目単位で次の基準で評価・採点する 1. 対応可能 2. 対応不可（代替案の提案あり） 3. 対応不可（代替案の提案なし）	提案書等付属様式5_機能要件一覧	2	10
2 学習系システム共通要件							
①	ID管理の仕組み	・仕様書「6（3）①ID管理」に記載した学習系システムで利用するIDについて、仮稼働時、本格稼働時に分けて仕組みや想定される各システムへの流れを記述すること。  ・仮稼働時から本格稼働までに必要な作業、考えられるリスクとその対応策について記述すること。	・6（3）①ID管理	・本市想定ID管理の仕組みや流れが的確に記載されていること ・仮稼働時から本格稼働時に必要と考えられる作業や考えられるリスクとのその対応策が提案されていること		2	10
②	個人情報管理	・仕様書「6（3）学習系システム共通要件」の提案項目に記載したとおり、クラウドサービス（SaaS）上に、児童・生徒の個人情報（氏名等）を保持する方針である。この方針に基づき、提案者が考える各システムでの個人情報の情報管理手法・セキュリティ対策をそれぞれ具体的に記述すること。  ・各システムで保持する個人情報を列挙し、それらの情報を保持するリスク及び対策を記述すること。	・6（3）④個人情報管理・セキュリティ対策	・システムごとで保持している個人情報の範囲が記載されている ・全てのシステムで保持する個人情報に対して、どのようなリスクがあるかを示し、その対応策と効果が記載されていること ・保持するリスクとその対策、情報管理手法が記載されていること		2	10
③	校外からの私物端末利用時のセキュリティ	・仕様書「6（3）学習系システム共通要件」の「提案項目」に記載したとおり、校外から児童・生徒の私物端末にて学習系システムを利用する場合のセキュリティ対策・実現方法について具体的に提案すること。	・6（3）学習系システム共通要件	・私物端末から本市の学習系システムを利用する際にどのようなリスクがあるか示し、その対応策、対応策の根拠と効果が記載された提案であること ・提案する案が、将来的に保護者が利用する場合の対策も根拠と併せて提案されている		2	10
3 協働学習支援システム							
①	協働学習支援システムの基本的な考え方	・協働学習支援システムにおける提案内容の特長としてアピールする点、構築時・運用時において重視する点を記述すること。  ・仕様書に記載のとおり利用・運用用途を想定し、他導入事例等での課題・トラブルなどを踏まえて、注意点、想定課題及びその解決策を記述すること。  ・兼務先所属にて協働学習支援システムを利用する場合のログイン方法について具体的に記載すること。	・6（4）①協働学習支援システム	・他導入事例等での課題・トラブルのみでなく、本市固有の課題が想定されており、その解決策と効果が記述されていること  ・本市における利用・運用用途として、「選択制」であることに対する注意点、想定課題及びその解決策と効果が記述されていること		6	30
②	協働学習支援システムの利用イメージ	・仕様書「6（4）①協働学習支援システム」に記載した内容を踏まえ、提案者が想定する協働学習支援システムのそれぞれの利用イメージを具体的に記述すること。なお、その利用イメージを実現させるにあたり、受託者の責任範囲外で、実施する必要がある内容について、全て記述すること。  ・各学校で個別に実施する想定の設定作業について、作業内容を具体的に記述すること。	・6（4）①協働学習支援システム ・6（4）②学習支援システム	・他導入事例を根拠に、学校現場での利用イメージ及び校種ごと・主な授業ごと等の「選択する協働学習支援システム」のメリット・デメリット等を記述すること  ・協働学習支援システムのそれぞれの利用イメージについて、教員・児童生徒がスムーズに利用できる工夫（ワンクリックで起動できる、ふりがな表示ができる等）が示されていること  ・協働学習支援システムと学習支援システムの使い分けや利用イメージを小中学校の学年別やシーン別に記述すること		6	30



大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
	4	学習支援システム					
		① 授業で作成した資料や成果物の集約管理	・ 小学校6年間、中学校3年間のそれぞれで児童・生徒が授業等で作成した資料や成果物を、学期末等に一括でファイル共有（クラウドサービス（SaaS））の児童生徒の個人フォルダに集約するような運用を想定しているが、その集約・管理運用を行うために有益と考えられる手法を具体的に提案すること。 なお、その運用に係る課題がある場合には、その解決策とともに記述すること。	・ 6（4）②学習支援システム	・ 一括集約及び管理運用を行うための具体的な手法が提案されていること ・ 一括集約及び管理運用を行うための手法及びその運用に関して、課題とその解決策、効果が記載されていること ・ 市内/外への転校時や氏名変更時等の起こり得る状況を十分に考慮されており、その対策が提案されていること	4	20
	5	学習系ポータル					
		① 学習系ポータルの基本的な考え方	・ 学習系ポータルにおける提案内容の特長としてアピールする点、構築時・運用時において重視する点を記述すること。  ・ 仕様書に記載のとおり利用・運用用途を想定し、他導入事例等での課題・トラブルなどを踏まえて、注意点、想定課題及びその解決策を記述すること。 特に、学習系ポータルでシングルサインオンを実装させることに対する、注意点、想定課題及びその解決策を具体的に記述すること。  ・ 兼務先所属にて学習e-ポータルを利用する場合のログイン方法について具体的に記載すること。	・ 6（4）③学習系ポータル	・ 新たな学習系のシステムが追加された場合の対応方針が具体的に示されていること ・ お知らせの掲載や一部画面の改修作業（ショートカットの追加、配置順序の修正等）の考え方について記載されていること	6	30
		② 学習系ポータルの環境構築	・ 仕様書「6（4）③学習系ポータル」に関し、提案者が考える実際の利用環境構築に必要な作業内容、ネットワーク経路について、教職員（幼稚園）用、教職員（小学校）用、教職員（中学校）用、児童（小学校）用、生徒（中学校）用、のそれぞれの単位で記述すること。  ・ 自宅等校外から私物端末を利用し、本学習系ポータルを経由して、各学習系サブシステムにアクセスする場合の動作について、記述すること。  ・ 学習系ポータルの内容に変更が発生した場合（デジタルドリル、デジタル教科書等の導入による改修）の対応方法について、記述すること。  ・ 学校からのお知らせ等の情報掲載の利用方法を記述すること。	・ 6（4）③学習系ポータル	・ 各ユーザに合わせて利用環境の構築が提案されていること ・ 自宅等校外から私物端末を利用し、本学習系ポータルを経由して、各学習系サブシステムにアクセスする場合の動作について記載されており、児童生徒端末、教職員端末と動作が異なる場合や利用機能に制限が出る場合は、可能な限り代替提案（運用案）が示されていること ・ デジタル教科書・教材等の導入による追加改修作業の考え方について記載された提案になっていること ・ 学校からのお知らせ等の情報掲載に関して、校園長及び教育センターが容易に掲載ができるような設計が提案されている ・ 自宅等校外から私物端末を利用し、本学習系ポータルを経由して、各学習系サブシステムにアクセスする場合の動作と教職員端末や児童生徒端末から各学習系システムにアクセスする場合の動作が異なる場合はその差異を記載し、差異が利用者の負担になるものであれば、対応策も記載されていること	4	20
		③ 学習系ポータルの利用イメージ	・ 仕様書「6（4）③学習系ポータル」に記載した内容を踏まえ、提案者が想定する学習系ポータルの利用イメージを具体的に記述すること。 なお、その利用イメージを実現させるにあたり、貴社の責任範囲外で、実施する必要がある内容について、全て記述すること。  ・ 本市・各学校で個別に実施する想定の設定作業がある場合について、作業内容を具体的に記述すること。	・ 6（4）③学習系ポータル	・ 学習系ポータルの利用イメージが記載されており、教員・児童生徒がスムーズに利用できる工夫（ワンクリックで起動できる、ふりがな表示ができる、ひらがなのみで表示できる等）が示されていること	2	10

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
6	ナレッジ共有						
	①	ナレッジ共有の基本的な考え方	・ナレッジ共有における提案内容の特長としてアピールする点、構築時・運用時において重視する点を記述すること。  ・仕様書に記載のとおり利用・運用用途を想定し、他導入事例等での課題・トラブルなどを踏まえて、注意点、想定課題及びその解決策を記述すること。 特に、ナレッジ共有で承認ワークフローを実装させることに対する、注意点、想定課題及びその解決策を具体的に記述すること。	・ 6 (4) ④ナレッジ共有	・他導入事例等での課題・トラブルのみでなく、本市固有の課題について、十分に想定されており、その解決策と効果が提案されていること ・承認ワークフローを本システムにて実装させることに対する注意点、想定課題及びその解決策と効果が提案されていること	6	30
	②	ナレッジ共有の環境構築	・仕様書「6 (4) ④ナレッジ共有」に関し、提案者が考える実際の利用環境構築に必要な作業内容、物理構成、コンテンツファイルの管理方法、外部サイト検索の実現方法、ストリーミング実現方法、承認ワークフローの実現方法について、具体的に記述すること。  ・仕様書「6 (4) ④ナレッジ共有」に記載した内容を踏まえ、本市が保有するMicrosoft365 (例：SharePoint Online、Stream等) のライセンスを利活用する、またはそれ以外のシステム製品を導入する等、提案内容を具体的に記述すること。	・ 6 (4) ④ナレッジ共有	・ナレッジ共有を実現するツールや製品について、特長が説明されていること ・コンテンツファイル (PDF、Office、画像、動画等) の登録における具体的な業務の流れ (承認ワークフローの流れを含む) が、ファイルの内容や申請時期等によって、承認者の変更や承認ルートの変更に対して柔軟に申請フローを修正できる、かつ申請内容の過程状況が容易に確認できる設計が提案されていること ・承認ワークフローや画面構成の簡易な改修の考え方について提案されていること	4	20
	③	ナレッジ共有の利用イメージ	・仕様書「6 (4) ④ナレッジ共有」に記載した内容を踏まえ、提案者が想定するナレッジ共有の利用イメージ、その利用イメージに伴う完了までの操作・経過時間を具体的に記述すること。 なお、その利用イメージを実現させるにあたり、貴社の責任範囲外で、実施する必要がある内容について、全て記述すること。  ・本市・各学校で個別に実施する想定の設定作業がある場合について、作業内容を具体的に記述すること。	・ 6 (4) ④ナレッジ共有	・ナレッジ共有の利用イメージ、その利用イメージに伴う完了までの操作イメージを記述すること ・本市・各学校で個別に実施する想定の設定作業がある場合にはその作業内容を記述すること	2	10
小計							240

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
Ⅲ 学習系システム非機能要件							
1 非機能要件の考え方							
	① 非機能要件の考え方	<div>・非機能要件の前提条件、ネットワーク構成、可用性、運用・保守性、性能・拡張性に関する対応について基本的な考え方を記述すること。</div> <div>・非機能要件の要求レベルを下げる必要がある場合、その合理的な理由や代替方法等を記述すること。</div>	・ 7 学習系システム 非機能要件	<div>・非機能要件の前提条件、ネットワーク構成、可用性、運用・保守性、性能・拡張性に関する対応について、基本的な考え方が適切に記載されていること</div> <div>・非機能要件の要求レベルを下げる必要がある場合、その合理的な理由や代替方法等の記載が適切な内容になっていること</div>		2	10
2 信頼性要件							
	① 信頼性要件	<div>・仕様書に基づき、学習系システムの可用性やデータの信頼性などの信頼性要件に対する基本的な考え方、実現方法を記述すること。</div>	・ 7（1）信頼性要件	<div>・それぞれのシステム及び全体として障害発生時においても管理データの消失を防止し、かつ管理データの整合性を保持できる構成が具体的に記載されていること</div> <div>・仕様書「4（5）SLA要件」を満たすための注意点や対策を本市の特徴を捉えて提案していること</div>		4	20
3 拡張性要件							
	① 拡張性要件	<div>・仕様書に基づき、学習系システムにおける拡張性要件に対する基本的な考え方を記述すること。</div> <div>・具体的に、以下のそれぞれの場合の対応方法（推定工数含む）を記述すること。</div> <div>①学習系のシステムとして、デジタルドリルやデジタル教科書が導入される場合</div> <div>②その他仕様書記載のシステム（生成AIを活用した児童生徒や教職員への学習支援、校務系への学習履歴等の円滑な連携）が導入される場合</div>	・ 7（2）拡張性要件	<div>・デジタルドリルやデジタル教科書等との連携開始に伴う推定工数が明示されており、また、その工数の積算根拠が適切に記載されていること</div>		4	20
4 性能要件							
	① 性能要件	<div>・仕様書に基づき、学習系システムにおける性能要件に対する基本的な考え方を記述すること。</div> <div>・仕様書「7（3）性能要件」に対して、どのように性能設計を行い、提案するクラウドサービス（SaaS）のリソースを導出したか、記述すること。また、運用開始後に継続的に性能検証を行う方法について、記述すること。</div> <div>・稼働後に性能要件を満たさないことが判明した場合の対応について、記述すること。</div>	・ 7（3）性能要件	<div>・具体的な性能の検証方法が提示されており、その検証方法が常時性能監視できる構成が記載されていること</div> <div>・性能要件を満たさない場合の対応として、学習系システム単体で必要都度チューニングやリソース増強を行う、もしくは、関係事業者との連携した性能チューニングを行う旨を説明しており、実効性が高いと認められること</div>		4	20
5 セキュリティ要件							
	① セキュリティ要件	<div>・仕様書に基づき、学習系システムにおけるセキュリティ要件に対するそれぞれ（①基本的な考え方、②物理的セキュリティ、③人的セキュリティ、④技術的セキュリティ、⑤個人情報保護、⑥暗号化、⑦開発・運用保守拠点のセキュリティ対策、⑧監査）の考え方及び実現方法を記述すること。</div> <div>・セキュリティインシデント発生時の対応についても記述すること。</div> <div>・仕様書の「7（4）セキュリティ要件」及び「7（5）監査」に基づき、本システムにおける情報セキュリティ要件に対する基本的な考え方、実現方法を記述すること。</div> <div>・その他、本情報システム構築に際し、実装することが望ましいセキュリティ機能があれば記述すること。</div>	<div>・ 7（4）セキュリ ティ要件</div> <div>・ 7（5）監査</div>	<div>・仕様書記載の遵守すべき法令・規定の全てへの対応方針、及び必要な対策を行っている根拠を明確に説明されていること</div> <div>・情報漏洩防止や不正アクセス対策を含む総合的なセキュリティ対策が、組織・技術の両面からバランス良く設計されていること</div> <div>・仕様書に記載およびそれ以外の学校現場特有／本市特有のリスクを考慮し、その対策が効果的であること</div>		4	20



大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
	6	SLA管理要件					
	①	S L A 要件	・ 仕様書に基づき、S L A 要件に対する基本的な考え方、基準値を満たさなかった場合の対応について、記述すること	・ 4 ( 5 ) SLA要件	・ S L A を遵守するための具体的な実現方法について、その根拠が示されている ・ S L A 基準値を満たさなかった場合の対応・改善方法とその根拠が示されている ・ S L A の検証の実施方法を具体的に示し、継続的な監視が提案されている	4	20
小計							110
IV 再構築業務委託要件							
	1	プロジェクト管理要件					
	①	プロジェクト管理	・ 仕様書「8 ( 1 ) プロジェクト管理要件」の以下の各要件をもとに、提案内容の特長として特にアピールする点を記述すること。  －プロジェクト管理 －進捗管理 －品質管理 －課題・リスク管理 －ドキュメント管理 －構成管理 －コミュニケーション管理  ・ 構築工程における「受注者の負担で用意する場所」を記述すること。	・ 8 ( 1 ) プロジェクト管理要件	・ 定義した各工程における進捗管理の考え方、定量的な管理方法等が具体的に記述されており、妥当なものとなっていること ・ 「大阪市ICTプロジェクト管理ガイドライン」を踏まえたうえで、提案を行っていることが、具体的に説明されており、かつマネジメント手法として、国際標準に準拠した手法（PMBOK等）を採用し、本再構築業務に有益に活用できる提案になっていること	2	10
	2	テスト・検証要件					
	①	テスト・検証の考え方	・ 仕様書に基づき、学習系システムの導入・構築におけるテスト・検証要件に対する基本的な考え方と具体的な作業内容を記述すること。	・ 8 ( 4 ) テスト・検証要件	・ テスト・検証についての基本的な考え方、作業内容が具体的に記載されていること ・ 仮稼働と本稼働のそれぞれのテスト・検証の実施内容が具体的に記載されていること ・ 学習系システム構築においてテスト工程で留意すべきことが記載されていること	2	10
	3	その他付帯作業					
	①	マニュアル	・ 仕様書「8 ( 6 ) ① マニュアル」を基に、仮稼働時と本稼働時のそれぞれのマニュアルの記載予定の内容、ユーザに有効活用してもらうための工夫について、具体的に記述すること。	・ 8 ( 6 ) ① マニュアル	・ マニュアルの記載予定の内容、ユーザに有効活用してもらうための工夫が明確に記載されていること ・ ユーザに有効活用してもらうための工夫内容が、効果的であり、その根拠が示されていること ・ マニュアルの作成から提供、更新および内容のレビューについて具体的に作成プロセスが示されていること	2	10
小計							30

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
Ⅴ 移行要件							
1 移行・切替要件							
① 移行・切替の考え方		<div>・仕様書に基づき、段階的リリースの移行・切替の基本的な考え方を記述すること。</div> <div>・移行の際に、注意すべき点、想定されるトラブルとその対策について、記述すること。</div>	・ 8 ( 5 ) ①システム 移行・切替要件	<div>・移行・切替についての基本的な考え方、注意すべき点、想定されるトラブルとその対策が明確に記載されていること</div> <div>・段階的な移行に関するリスクとその対応策が、効果的であること</div> <div>・ID／アカウントの切替に関するリスクとその対応策が、効果的であること</div>		4	20
② データ移行の考え方		<div>・データ移行に関する基本的な考え方、計画案を以下のそれぞれについて記述すること。</div> <div>・仮稼働時</div> <div>・NW移行期間・本稼働時</div> <div>・本システム契約終了後</div> <div>・データ移行の際に、注意すべき点、想定されるトラブルとその対策について、記述すること。</div>	・ 8 ( 5 ) ②データ移 行要件	<div>・データ移行の基本的な考え方、計画案、注意すべき点、想定されるトラブルが明確に記載されていること。また想定されるトラブルへの対応策と効果を記述すること</div> <div>・以下のそれぞれの時点でのデータ移行について、網羅的に提案されていること</div> <div>・仮稼働時</div> <div>・NW移行期間・本稼働時</div> <div>・本システム契約終了後</div>		2	10
小計							30
Ⅵ 研修要件							
1 研修要件							
① 研修要件		<div>・仕様書「9 研修要件」を基に、各研修の実施方法、対象範囲、参加者の理解度を向上させる工夫について、記述すること。</div> <div>・準備期間を含めた研修スケジュールを記述すること。</div> <div>・研修を実施するにあたり本市との役割分担についても記述すること。</div>	・ 9 研修要件	<div>・各研修の実施方法、対象範囲、参加者の理解度を向上させる工夫、準備期間を含めた研修スケジュール、本市との役割分担が明確に記載されていること</div> <div>・準備期間を含めた研修スケジュールが本市の想定スケジュールに沿った提案になっていること</div> <div>・初期導入時研修を除くそれぞれの研修における閲覧制限や研修の動画掲載時の周知方法について、本市にとって有益かつ実現可能性の高い内容であること</div>		6	30
小計							30



大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
Ⅶ 運用保守業務委託要件							
1 プロジェクト管理							
①	運用保守におけるプロジェクト管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・仕様書に記載の各プロジェクト管理項目について、各要件をもとに、受注者の考え方や特長を記述すること。</li><li>・仕様書をもとに、受注者が考える運用作業の具体的な内容、その想定作業回数を記述すること。</li><li>-プロジェクト管理</li><li>-報告管理</li><li>-工数管理</li><li>-進捗管理</li><li>-品質管理</li><li>-課題管理</li><li>-変更管理</li><li>-構成管理</li><li>-リリース管理</li><li>-コミュニケーション管理</li></ul>	・ 1 0 ( 1 ) プロジェクト管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・提案書に、仕様書に記載された各プロジェクト管理項目について、受注者の考え方や特長が具体的に記載されていること</li><li>・運用作業の具体的な内容や想定作業回数が明確に記載されていること</li></ul>		2	10
2 運用作業							
①	運用作業における基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・仕様書「1 0 ( 2 ) 運用作業」を基に、仕様書記載の作業内容を踏まえ、貴社が考える運用作業の具体的な内容、及びその想定作業回数・工数を記述すること。また、その想定作業回数・工数を超えた場合の考え方（追加費用の発生有無等）を記述すること。</li><li>・運用作業を効率化し、工数削減する工夫を記述すること。</li></ul>	・ 1 0 ( 2 ) 運用作業	<ul style="list-style-type: none"><li>・運用作業の具体的な内容、及びその想定作業回数・工数、想定作業回数・工数超過時の考え方、工数削減の工夫内容について、具体的に記載されていること</li><li>・監視・通報について、スムーズに検知して報告および必要な調査を行うような具体的かつ効果的であること</li><li>・アカウント設定の自動化の仕組みについて、具体的かつ即時反映可能である等効果的であること</li></ul>		4	20
②	デジタル教科書のアカウント管理効率化	<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル教科書のアカウントについて、複数の教科書会社のアカウントを一括管理するサービスの導入や運用保守業務でのアカウント管理業務の提供等の提案を行うこと。</li></ul>	・ 1 0 ( 2 ) ②アカウント設定	デジタル教科書のアカウント管理業務について、具体的に提案されていること		2	10
③	ログ取得方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・I C T の利活用状況の把握するために必要なログ取得の仕組みを具体的に記述すること。</li><li>・提案する仕組みによって取得できるログ情報の内容を明記すること。</li></ul>	・ 1 0 ( 2 ) ③ログ管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習系システムとして、把握可能な情報を網羅的に記載されており、I C T 利活用状況を把握するための必要なログ情報とその取得方法が実現可能な手法であること</li></ul>		2	10

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次			記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
		④	ログ集計・分析・報告方法		・ I C T利活用状況を把握するための集計方法、分析方法、報告方法について実現可能な手法が記載されていること ・ I C T利活用状況を詳細かつ適切に把握するための集計方法及び分析方法であること ・ 教育情報NW基盤事業者や本市から提供すべきログ情報が具体的かつ実現可能性が高いこと ・ 月次報告時のみでなく、本市の求めに応じて随時報告ができるよう集計・分析の仕組みを提案されていること		4	20
		⑤	学習者用端末・学習系システム・教育データ利活用に資する取り組み		・ 学習者用端末・学習系システム利活用について、現行運用保守で実施中の利用状況の集計・分析から、一歩踏み込んだ利活用促進につながる内容を提案すること。 ・ 各学校で必要なデータをダウンロードして分析できるような仕組みを含めて、教育データの利活用に関する内容を提案すること。		4	20
	3 保守作業							
		①	保守作業における基本的な考え方		・ 仕様書「10(4)保守作業」を基に、仕様書記載の作業内容を踏まえ、貴社が考える運用作業の具体的な内容、及びその想定作業回数・工数を記述すること。また、その想定作業回数・工数を超えた場合の考え方を記述すること。 ・ 保守作業を効率化し、コスト削減する工夫を記述すること。 ・ 保守作業において、現地対応が必要となる作業を具体的に記述すること。		4	20

大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
4 ヘルプデスク							
	① 学習系ヘルプデスクの考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・仕様書「10(2)ヘルプデスク」を基に、仕様書記載の作業内容を踏まえ、貴社が考える学習系ヘルプデスクにて実施する保守作業を具体的に記述すること。</li><li>・学習系ヘルプデスクの効率的な体制及び運用について、提案すること。</li><li>・学習系ヘルプデスクへの問合せ件数を削減するための工夫を記述すること。</li><li>・問合せの受付範囲を記載すること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・3(1)⑥教職員・児童生徒が利用するシステム</li><li>・10(7)ヘルプデスク</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習系ヘルプデスクが担う保守作業、効率的な体制及び運用、問合せ件数を削減するための工夫について具体的に記載されていること</li></ul>		4	20
	① ヘルプデスク品質向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・電話に加えてチャット等による問い合わせ受付方法を提案すること。またIVR等の活用によるコールバック依頼受付についても提案すること。</li><li>・問い合わせへの迅速かつ的確な対応が行えるような取り組みを提案すること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・10(7)⑧改善</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・問合せ受付方法について、具体的な手法が提案されていること</li></ul>		2	10
5 運用状況報告と改善活動							
	① 改善活動における基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習系システムの運用に係る改善提案に関する基本的な考え方を記述すること。</li><li>・教育現場における課題（各種システムの性能が導入当初から低下した等）を調査し、運用に支障をきたす事象が発生した場合の改善提案・対応の内容について記述すること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・10(4)運用状況報告と改善活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育現場における課題を調査し、運用に支障をきたす事象が発生した場合の改善提案・対応の内容について、具体的に記載されていること</li><li>・改善活動を中心とした実現性の高いPDCAサイクルが提案されていること</li><li>・運用に支障をきたす事象が発生した場合の改善提案・対応（休日に発生した場合には、翌営業日に即時に対応できるよう体制を整える等）に関する考え方について記載されていること</li></ul>		4	20
6 通常の運用保守業務以外の支援							
	① 通常の運用保守業務以外の支援における基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育現場の状況を考慮し、運用保守業務の定期的な作業や支援以外（例えば、繁忙期対応や時間延長対応、災害時対応など突発的な対応）を本業務範囲内で柔軟に対応するために貴社が想定する工数及びその利用方法について具体的に記述すること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・10(5)運用保守業務以外の支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体的な運用保守業務の定期的な作業や支援以外の業務を示し、それにかかる想定工数及びその根拠が具体的に示されていること</li><li>・年度別に、想定される工数を適切に算出していること</li></ul>		2	10
7 本業務終了に伴う引継ぎに関する事項							
	① 業務の引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"><li>・本業務の終了時の引継ぎについて、引継項目とそれに伴うドキュメントを記述すること。</li><li>・引継ぎ漏れが起こらないような工夫があれば記述すること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・10(6)本業務終了に伴う引継ぎに関する事項</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・引継項目とそれに伴うドキュメントについて、及び引継ぎ漏れが起こらないような工夫について、具体的に記載されていること</li><li>・引継ぎ漏れが起こらないよう、事業者のノウハウを活かした提案がされていること。</li><li>・業務引継書の具体的なイメージが示されているか、また、作成方針や構成等がしめされていること</li></ul>		4	20
小計							190



大阪市学習系システム構築及び運用保守業務委託 提案書評価表

提案書目次		記載依頼事項	仕様書 対応項番	評価基準	様式	加重 点	配点
Ⅷ その他留意事項							
1 契約期間終了後の運用保守延長の考え方							
①	契約期間終了後の運用 保守延長の考え方	・ 本契約期間終了後、本市の希望により契約更新（延長）する場合につ いて、契約条件を記述すること。	・ 1 2（1 4）契約期 間終了後の運用保守 延長の考え方	・ システム終了時の移行作業について、データ移行の考え方や、範囲、 手法（汎用的なデータ形式での提供方法）が記載されているか		2	10
小計							10
Ⅸ 追加提案							
※以下では、仕様書に記載がなくても、追加の提案があれば、記述すること。（上記Ⅰ～Ⅸに記述がある提案は除く）							
①	その他	・ その他自由提案があれば、記述すること。複数でも可。  ＜例＞ ・ 長期の契約になるため、新しい技術を見据えた（将来を展望するよう な）提案等	—	・ 本市の将来展望や運用改善に資する独自性や先進性のある提案が盛り 込まれており、実現性や発展性も十分か		2	10
小計							10
Ⅹ プレゼンテーションに関する事項（提案書記載不要）							
①	プレゼンテーション	提案内容について、提案書抜粋版を用いてプレゼンテーション及び質疑 応答に対応すること。	—	・ 提案内容について、提案書抜粋版を用いてプレゼンテーション及び質 疑応答に対応すること		2	10
小計							10
合計							750